

## ごあいさつ

我が国において超高齢社会が到来する中、すべての人が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするためには、「健康で過ごすことができる期間」を表す「健康寿命」の延伸が重要な課題となっています。健康寿命を延ばすことにより社会が活性化することは、社会保障制度の持続可能性の高まりにも繋がります。

現在、政府では健康長寿社会の実現に向けて様々な施策が講じられておりますが、最近では健康経営をはじめとしたヘルスケア分野に対する注目が一層高まり、企業においても従業員の健康維持を推進することで生産性の向上や組織の活性化に繋げる取組みが拡がりつつあります。

そうした中、生命保険協会では、平成29年度に「健康増進サポートプロジェクト」を実施し、スポーツ庁の後援により、全国の地域団体や企業等における運動（スポーツ）を通じた健康づくりの活動を募集・表彰しました（スポーティライフ大賞）。本報告書では、地域における幅広い年齢層を対象にした特色ある健康づくりの取組みや企業におけるユニークな取組みなど、健康づくりを生活の一部に落とし込んでいる創意工夫を凝らした活動を紹介しています。

加えて、生命保険業界においても、生命保険と親和性の高い「健康」分野における各種取組みが進められているところであり、本報告書では、生命保険会社各社における従業員や家族、地域社会に対する健康増進啓発の取組みをまとめております。

長期にわたってお客さまの人生を支えることは生命保険の使命であり、生命保険協会としても引き続き、健康増進啓発活動を通じて健康長寿社会の実現に貢献してまいります。

健康寿命を延ばすためには、皆さま一人ひとりが普段の生活の中で健康への意識を高く持って行動いただくことが重要です。この報告書が皆さまの健康づくりの一助になることを願って、刊行の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 生命保険協会  
会長 橋本 雅博